

県小教研見附市 図画工作科部 研修報告

見附市図画工作科部長 結城 孝子（新潟小）

◎本年度研修の目的

関東甲信越静地区造形教育研究大会新潟大会（開催地 長岡）、県小教研指定研究中間発表会（葛巻小）開催の絶好機を生かし、積極的な参加によって研修を深める。

1 開催日・開催地

- ①関東甲信越静地区造形教育研究大会新潟大会 8月4日・5日
リリックホール・県立近代美術館・長岡造形大学
- ②県小教研指定研究中間発表会 11月18日
見附市立葛巻小学校

2 研修内容

①関東甲信越静地区造形教育研究大会新潟大会

○第8分科会提案発表者として参加（1名）

地域素材（布）を家庭・地域の協力で集め、作品作りを進めた実践を発表。材料の提供を受けるだけでなく、作品展示会に招待し、解説入りで見ていただくという双方向の関わりをもった。このことで家庭・地域と子どもたち、そして学校をより強く結びつけ、造形活動への協力も得やすくなった。



○希望分科会に参加

他の部員は、各自希望する分科会に参加し、研修を深めた。また、受付や分科会場作りなど、運営面で協力した。

○指導講評（文部科学省初等教育局教育課程課教科調査官 岡田 京子 様）

記念講演（多摩美術大学教授 秋山 孝 様）
をお聞きした。

②県小教研指定研究中間発表会

研究主題「自分の思いを豊かに表現する子どもの育成」のもと、低・中・高学年の3分科会で公開授業・研究協議が行われた。部員は、指導者・記録者・一般参観者など、それぞれの立場で参加した。

伸び伸びと表す子どもの姿が見られたが、材料体験の充実、表現方法の紹介など造形的な環境づくりと技能を支える支援の効果は認められたが、思いをふくらませる支援を明確にしていくことが、3分科会に共通しての次年度への課題となった。